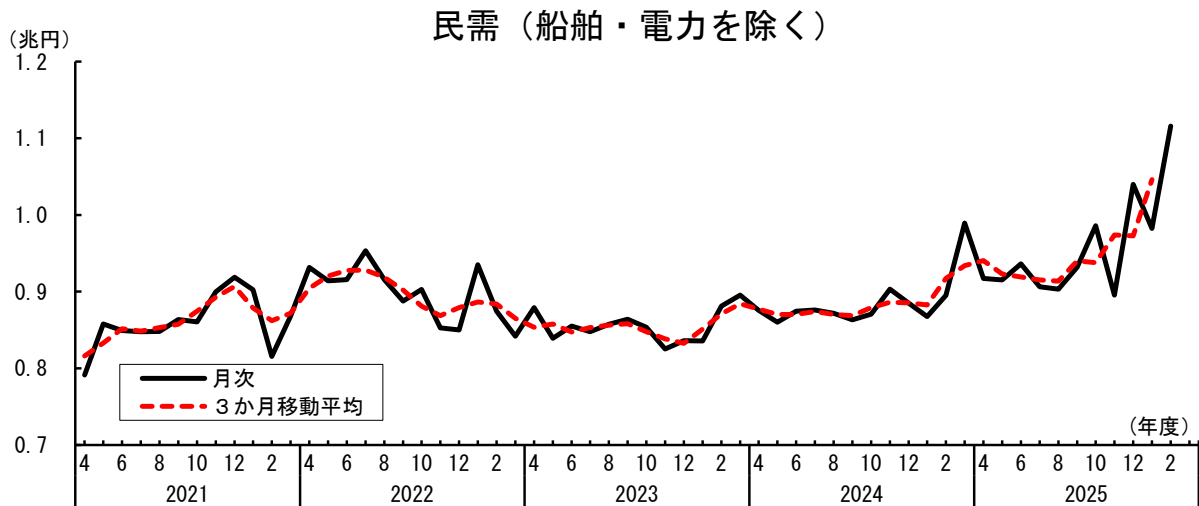


機械受注統計調査(令和8(2026)年2月実績)
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—
(基調判断据置き)

- 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、2月は前月と比較して13.6%増加し、2か月ぶりの増加となった。
- また、3か月移動平均の前月比も7.5%増となっている。ただし、2月の受注額は大型案件によって大きく押し上げられていることを踏まえ、基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に据置きとした。



対前月(期)比

(単位:%)

期・月 需要者	2025年 (令和7年)				2026年 (令和8年)		2025年 (令和7年)		2026年 (令和8年)	
	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 見通し	11月 実績	12月 実績	1月 実績	2月 実績	
受注総額	2.0	△4.0	3.5	10.2	4.9	7.1	19.8	△2.0	△5.0	
民需	0.1	4.3	△1.3	6.2	△5.6	△4.7	21.8	△5.5	△1.8	
〃(船舶・電力を除く)	3.5	0.6	△1.0	6.6	△4.2	△9.2	16.1	△5.5	13.6	
製造業	△0.3	△0.4	5.3	△0.8	△5.0	△7.5	20.6	△12.5	30.7	
非製造業(除船・電)	5.4	1.5	△4.4	11.3	△2.7	△9.2	6.5	6.8	0.9	
官公需	△5.2	△26.4	△14.7	57.7	14.8	46.9	△4.7	△13.1	△19.0	
外需	4.2	△2.3	14.5	3.6	12.2	4.7	35.5	0.2	△5.1	
代理店	3.1	8.9	0.3	2.6	△2.0	△1.7	1.9	△3.0	7.2	
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	3.8	△0.1	7.5	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

2. △印は減少を示す。

3. 見通しは2025年12月末時点の調査。

4. 2026年1月調査(同年3月19日公表)において、季節調整系列の遡及改訂を行ったため、それに伴い「2026年1~3月見通し」(同年2月19日公表)も改訂されている。